



**TWISTED PAIR DISTRIBUTOR**

**KE 109CD2**

## 取扱説明書

お買い上げいただき誠にありがとうございます。

製品をご使用される前に必ずお読みください。



# ご使用上の注意

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。  
お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

警告



- ・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意



- ・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

## 絵表示の説明

注意（警告を含む）  
が必要なことを示す記号



一般的注意

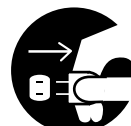


手をはさまれる

必ずしてほしい行為  
（強制、指示行為）を示す記号



一般的指示



プラグをコンセントから抜く

してはいけない行為  
（禁止行為）を示す記号



禁止



水ぬれ禁止



水場での使用禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

# 警告

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因になります。

- ・煙が出ている、変なにおいがするなどの異常のとき。
- ・内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・落としたり、キャビネットが破損したとき。
- ・電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。



このようなときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者又は当社に修理を依頼してください。

お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

火災や感電の原因となります。



内部に物を入れない

通風孔などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

ぬらさない

火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となります。



電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む

本製品に異常が発生したときは、電源プラグをコンセントからすぐ抜いてください。

本製品のカバー、キャビネットは外したり、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。  
内部の点検・修理の際は当社にご連絡ください。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。  
また、たこ足配線はしないでください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工しない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- ・電源コードを熱器具に近づけない。



# ⚠ 注意

## 次のような場所には置かない

- 火災や感電の原因となることがあります。
- ・湿気やほこりの多いところ。
  - ・油煙や湯気の当たるところ。
  - ・熱器具の近くなど。
  - ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ。



## 他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。



## 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

- ・横倒し、逆さま（あおむけ）にしない。



通風孔をふさいだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。



## 移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

接続したまま移動するとコードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



## 本製品の上に重い物を置かない

重い物や本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。



## 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全及び節電のため電源プラグを抜いてください。



## お手入れをするときは電源プラグを抜く

電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。



## 電源プラグはコードの部分を持って抜かない

電源コードを引っ張るとコードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



## ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。





# 目次

1.はじめに	1
1-1.本製品、付属品について	1
2.製品概要	2
3.接続方法および背面パネル	2
3-1.接続にあたっての注意・警告事項	2
3-2.ケーブルの準備	3
3-3.ケーブル固定金具	4
3-4.接続	5
3-5.各部詳細	6
4.前面パネル及び操作方法	7
4-1.前面パネル	7
4-2.操作	7
5.仕様	8



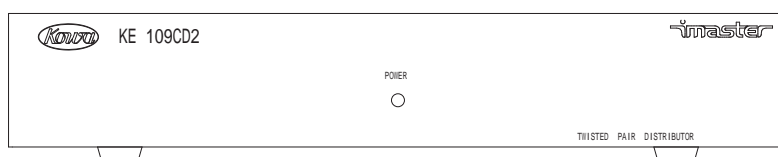


## 1. はじめに

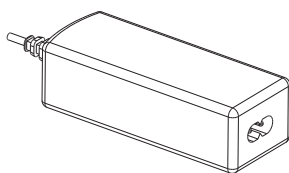
本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
お使いになる前に必ず本取扱説明書をお読みになり、本製品に関してご理解いただいた上で  
お使いください。

### 1-1. 本製品、付属品について

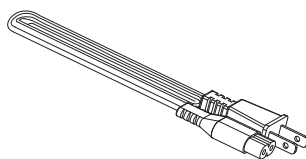
本製品および付属品が入っていることをご確認ください。



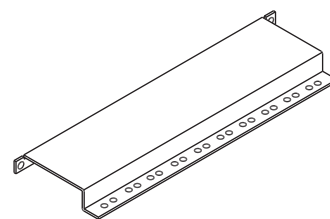
KE 109CD2 本体



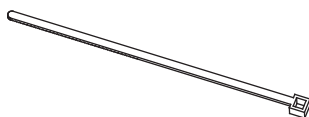
ACアダプタ



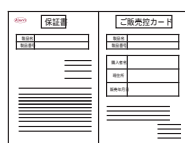
電源コード



ケーブル固定金具



結束バンド（10本）



保証書



取扱説明書（本冊子）

## 2. 製品概要

本製品は、当社ツイストペア送信器（KE 0202CT2等）の延長用出力を9分配する製品です。

## 3. 接続方法および背面パネル

### 3-1. 接続にあたっての注意・警告事項

#### 注意

- ・本製品は、LAN等のネットワーク機器ではありません。
- ・本製品には、当社推奨ケーブル（岡野電線：OKTP-E5-P-AWG24×4P）をご使用いただくことをお勧め致します。また、その他のケーブルをご使用する際には、ケーブルの特性に注意し、十分にご理解いただいた上でご使用ください。
- ・当社製ツイストペア送受信器(KE 0202CT2, KE 0101CR2等)の取扱説明書に記載されている推奨距離を上回りますと、画質の劣化を生じる恐れがあります。推奨距離以上でのご使用は、当社のサポート対象外となりますのでご注意ください。
- ・ノイズの多い電源ラインのそばにツイストペアケーブルを敷設すると、ノイズの影響により、映像がちらつくことがあります。ツイストペアケーブルを電源ラインから離して敷設してください。
- ・ノイズの多いAC電源に本体を接続すると、映像がちらつく場合があります。ACコンセント型のノイズフィルタを用いて、正常な電源でご使用ください。
- ・本製品のツイストペアコネクタ部分に負荷がかかる場合、付属の固定金具を使用してください。（"3-3．ケーブル固定金具"を参照してください。）

#### 警告

- ・ツイストペア送信器のツイストペア延長用コネクタには、対応製品以外、絶対に接続しないでください。ツイストペア送受信器及び接続機器が破損するおそれがあります。またその場合に発生した損害に対して、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ツイストペアケーブルを抜き差しする時は、必ずツイストペア送受信器及びツイストペア送受信器に接続されている製品の周辺機器の電源を切ってください。電源が入ったままツイストペアケーブルを抜き差しすることは故障の原因となります。

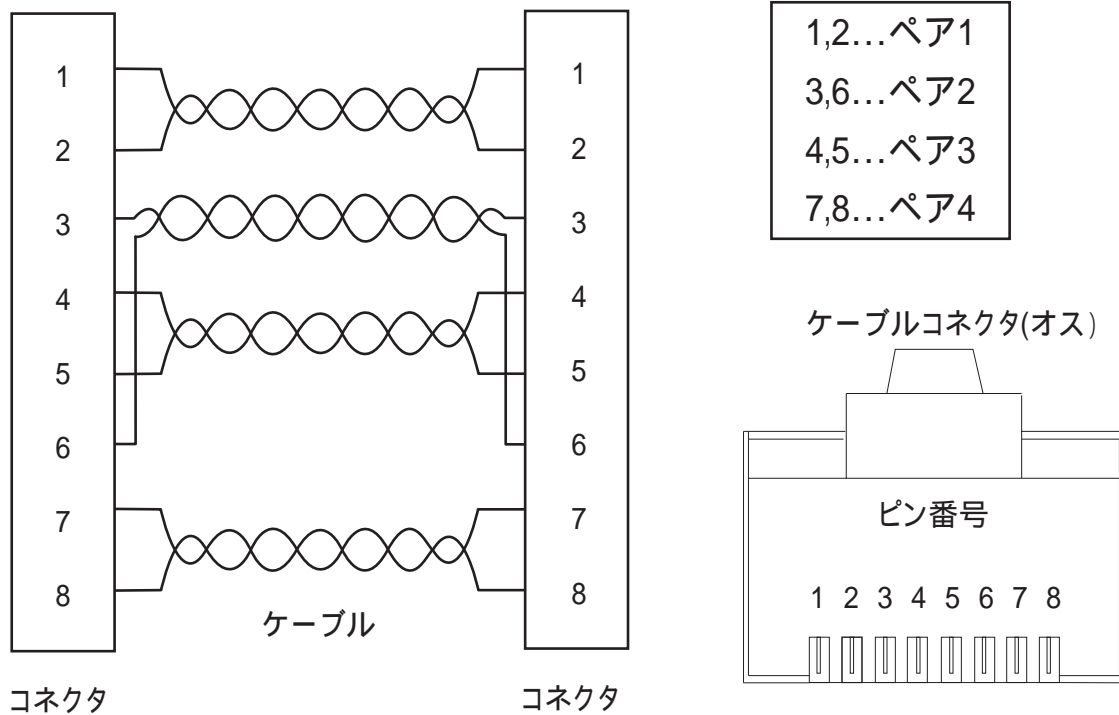
#### 配線工事(CAT5e, CAT6)の注意点

- a). ケーブルを強く引っ張らないでください。  
ツイストペアケーブルの最大引っ張り力は9.3Kgと規定されています。
- b). ケーブルはゆるやかに曲げてください。  
ケーブルの曲げ半径は約25mmを以上としてください。
- c). ケーブルの結線はきつくしないでください。
- d). ケーブル同士を長距離で並行して敷設しないでください。  
ケーブル同士が完全に並行しないよう少しでもバラバラに敷設してください。
- e). ノイズ源からはなるべく隔離してください。  
電源ケーブル等のノイズ源には近接させないでください。

### 3-2. ケーブルの準備

ツイストペア送信器と同受信器とを接続するケーブルには、CAT5e規格ケーブルあるいはCAT6規格ケーブルを使用し、ストレートに結線します。以下にストレート結線図を示します。

以下のように、ペア線の組み合わせを守って結線してください。ペア線の組み合わせを間違えると画質が劣化するおそれがあります。



一般によく使用される配線 (TIA/EIA-568-B) を以下に示します。



#### T568B (ストレート)

1番ピン	白(橙)	—————	白(橙)	1番ピン
2番ピン	橙	—————	橙	2番ピン
3番ピン	白(緑)	—————	白(緑)	3番ピン
4番ピン	青	—————	青	4番ピン
5番ピン	白(青)	—————	白(青)	5番ピン
6番ピン	緑	—————	緑	6番ピン
7番ピン	白(茶)	—————	白(茶)	7番ピン
8番ピン	茶	—————	茶	8番ピン

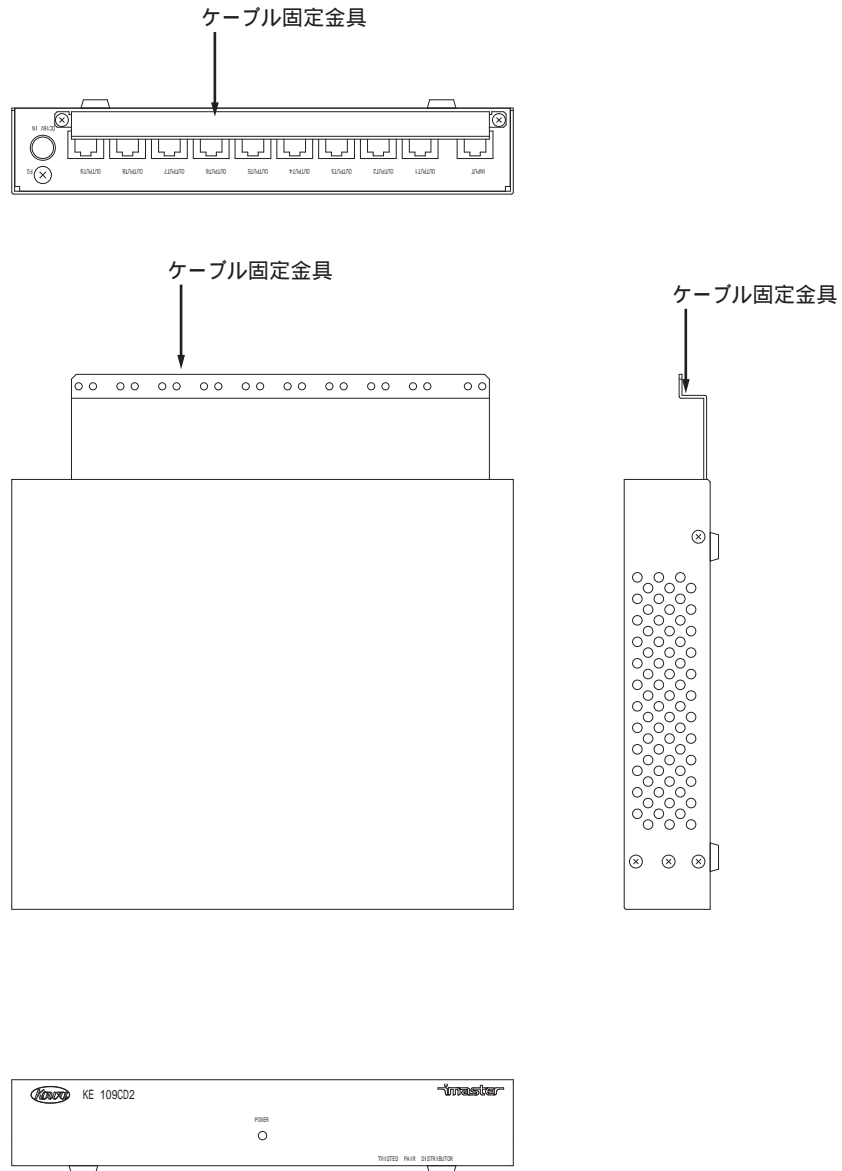
### 3-3. ケーブル固定金具

本製品には、ツイストペアケーブルを固定する金具が付属されています。

下図を参考に、取り付けてください。

ケーブルは付属の結束バンドなどを使用して金具に固定してください。

ケーブルが固定されていないと、ケーブルに力が加わった場合に本体のコネクタを破損することがあります。



### 3-4. 接続

以下の手順に従って、機器の接続を行ってください。

. ツイストペア送受信器、分配器及び、接続するすべての機器  
(PDP、ビデオ・DVDプレーヤ、PC、ディスプレイ等)の電源が切れていることを確認してください。

. ツイストペア送受信器の取扱説明書にしたがって、送受信器に各種ケーブル  
(映像・音声・制御ケーブル)を接続してください。

. 送信器 - 分配器 - 受信器間をツイストペアケーブルで接続してください。  
分配器での信号減衰はほぼありませんので、伝送距離および受信器での減衰・スキュー調整は  
送信器から受信器までのトータルのケーブル長で決まります。

例：以下のどの状態でも受信器の調整は同じです。

送信器 - 100mケーブル - ジョイント - 1mケーブル - 受信器

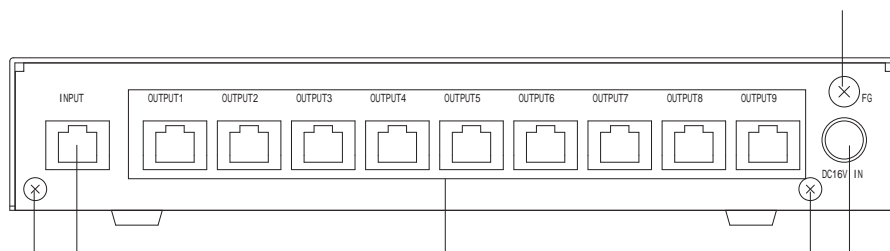
送信器 - 100mケーブル - 分配器 - 1mケーブル - 受信器

送信器 - 1mケーブル - 分配器 - 100mケーブル - 受信器

. 各機器の電源を入れます。電源の投入順序を決めることができる場合は、送信器に近い機器から  
順に電源を入れてください。

ツイストペア送信器・分配器・受信器間で電位差が発生することが予想される場合や、  
多数の機器が収納されているラック等に設置する場合、他の機器のFGと共に、  
送信器・分配器・受信器のFG端子をコンセントのアース端子に接続してください。  
アースをとることが困難である場合は、シールド付ツイストペアケーブルを使用すると、  
送信器・分配器・受信器間の電位差を少なくすることができます。

### 3-5. 各部詳細



KE 109CD2背面図

#### INPUT(RJ-45コネクタ)

送信器（KE 0202CT2など）からのツイストペアケーブルを接続するコネクタです。

#### OUTPUT1～9(RJ-45コネクタ)

分配出力です。受信器（KE 0101CR2など）にツイストペアケーブルで接続します。使用しない出力を終端などする必要はありません。（未接続で構いません。）

#### ケーブル固定金具固定部

付属のケーブル固定金具を取り付けてください。

#### FG

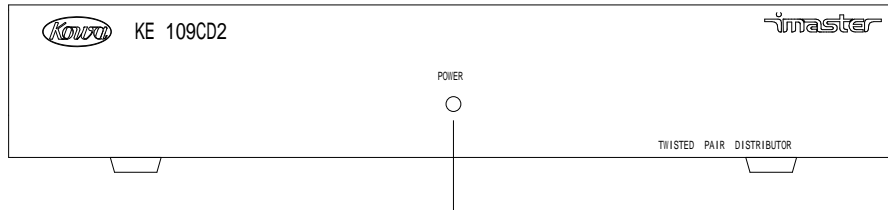
屋内のアース端子と接続するために使用します。

#### DC16V IN

DC16V専用電源アダプタを接続します。

## 4. 前面パネル及び操作方法

### 4-1. 前面パネル



KE109CD2 前面パネル

#### POWER

電源アダプタを接続すると本体の電源が入り、POWERランプが緑色に点灯します。

### 4-2. 操作

本製品を特に操作する必要はありません。

## 5. 仕様

型名	KE 109CD2
入力チャンネル数	延長用入力1系統
出力チャンネル数	延長用出力1系統(9分配)
入力コネクタ	RJ-45コネクタ
出力コネクタ	RJ-45コネクタ
延長インターフェースケーブル	エンハンスドCAT5規格ケーブル、CAT6規格ケーブル
使用温湿度条件	温度:0~40 湿度:20~80%(結露しないこと)
電源電圧	AC100V ±10% 50/60Hz (専用電源アダプタDC16V)
消費電力	約15W
外形寸法	W210×D180×H36(1Uハーフ) (コネクタ、固定金具等の突起物を含まず)
質量	約1.5kg (付属品等含まず)

2.1

※オプションにてラックマウント金具もご用意しております。  
※ネットワーク機器等には使用できません。







東京営業：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-11-1 TEL. (03) 5651-7091 FAX. (03) 5651-7310  
大阪営業：〒541-8511 大阪市中央区淡路町2-3-5 TEL. (06) 6204-6185 FAX. (06) 6204-6330